

令和4年度 自己評価・学校評価結果

認定こども園・ふたば幼稚園

I 「保育の計画性」について

・自己評価

幼稚園教育要領の理解、園の教育理念、教育方針の理解についての評価。特に指導計画・環境の構成および、評価反省を教育の質の向上のために、全教員で幼児の発達の姿をとらえるための話し合いを実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日職員の間で持ち、自由に意見交換が出来る環境を実践している。

・学校評価

A 評価委員

年間を通して園の方針が全教員に理解されて実施されている様子が伺える。

B 評価委員

全教員での話し合いを毎日実施、自由に意見交換をしておられることすばらしい。話し合いの継続によって、多に教育の質向上に役立つものと思います。

C 評価委員

園の教育理念、教育方針を理解し、教職員全員が協力・意見交換しながら良い保育ができていると思います。

II 「保育の在り方、幼児への対応」について

・自己評価

健康観察や園内での安全な環境づくりに配慮し、機敏に幼児のみとりと理解を深める指導を徹底して行っている。健康観察では、毎日の視診、体温や手消毒の徹底、クラス内の清掃・換気・室温・採光等の管理などに気を使っている。また、一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけ、教職員全員がすべての幼児についてある程度理解しているように、また、指導上配慮を必要とする幼児についても特によく話し合っ共通理解をもって対応することができている。

・学校評価

A 評価委員

指導していく中の根幹となる対応が自信を持ってできている。そのためにも教職員が幼児についてよく理解し、配慮している姿勢がありやりがいのある仕事になっていると思う。

B 評価委員

一人ひとり幼児をよく観察で生きるよう心がけ、幼児の理解に努めることを教職員全員にもとめていることすばらしい。幼児一人ひとり理解を深めることは保育の基本であると思います。

C 評価委員

安全な保育環境を心がけ、健康観察や幼児同士の関係性や個性への観察も徹底されていると感じます。特にアレルギーを持つ子への対応は素晴らしいと感じました。

D 評価委員

子供達1人ひとりとしていねいに接しているので、子供全員が園に来るのを楽しみにしている様子が分かります。

Ⅲ「保育者としての資質や能力・良識・適正」について

・自己評価

専門家としての能力の構築への努力に、教諭としての専門知識の他に、それに関わる技能を身につけようと研鑽している。それは保育者としての誇りと自信を持ち備えることであり、良識、マナー、義務を遵守する組織の一員として正しい在り方を守ることができており自己評価が高くなっている。

・学校評価

A 評価委員

経験年数豊富な人材がそろっており、指導上必要な資質をお互いに高め合っているように思う。とても気持ちの良い教職員を備えていると思う。

B 評価委員

自己評価の完全実施と評価結果の反省を重ねて行くことは専門家としての能力構築につながるものと考えます。

C 評価委員

保護者としての能力や知識を身につけるために努力し、日々向上心を持って臨む立派な教職員が揃っていると思います。

Ⅳ「保護者への対応」について

・自己評価

クラスだよりを作成し、子どもの様子や保育のポイント等を発信している。個人面談時やその他の保護者からの要望、意見については、安易な行動は起こさず、園長や主幹教諭、学年主任等に相談をしている。また、保護者の要望等を受け止める場合はマナーを守り、要望等の教育的な意義付けをはっきりしてから対処するよう理解できており、自己評価が高くなっている。

・学校評価

A 評価委員

お便りで細部に渡り報告、連絡をしているので、保護者の方は園を理解し園児の話も理解しやすくしていると思う。実際に会った時には確認出来て安心できる要因になっているのではないかと感じる。

B 評価委員

幼児教育で最も難しいものがこの項目であろうと思います。多様化の時代、保護者からの要望・意見も多種多様であろうと思います。従って慎重を期すためにも、園長や学年主任等に相談することが妥当であろうと思います。

C 評価委員

保護者へわかりやすい情報提供はもちろん保護者の方への対応にも尽力していると思います。

D 評価委員

手書きのクラスだより。毎回楽しみにしております。各クラスの持ち物服装等が大変分かりやすいです。

V 「地域自然や社会との関わり」について

・自己評価

現在新型コロナウイルスの等で地域の人びとや園内における学年間の交流がはかされていない状況のため、自己評価が低くなっている。今後の状況により小学校交流事業、地域開放、子育て支援活動等、地域の真ん中にある幼稚園であるために前向き対応してしかなければならない。

・学校評価

A 評価委員

感染症対策を踏まえながら関わりの中で行事を行ったり、交流をするのは大変なことであるが、よくやっている方だと思う。

B 評価委員

保護者への対応と同様、この項目もかかわりが難しいかと思います。対応については従来からの継承と新たな課題が生じた場合は、町行政との連携が必要になるものと思います。

C 評価委員

今後コロナウイルスが落ちついたら、また地域との交流がはかれるよう工夫し努力してほしいと思います。

D 評価委員

最近の社会的状況では地域とのかかわり行事参加等も難しそうです。早く落ち着くといいですね。

VI 「研修と研究」について

・自己評価

各種研修会への参加や幼稚園内での教師としての専門性に関する研究を行い、それぞれに園を取り巻く環境や子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態について、理解したり、学習したりしているものの、自己評価は低くなっている。現在アレルギー、自立の遅れがある子、加配の必要性のある幼児に対する保育のあり方、預かり保育・子育て支援の考え方、危機管理についての現状やあり方についても研修・研究している。

・学校評価

A 評価委員

現在のニーズに合わせた対応を常に先取りしながら、アレルギー対応や配慮する子の共通理解共よくがんばっている。他の幼稚園の事件に振り回されず自信を持って研修に励んで欲しい。

B 評価委員

園内独自の研修体制、地域社会(町県行政、私立幼稚園連合等)での研修研究等で対応することが望まれる。

C 評価委員

時代とともに多種多様な考え方や大量の情報の中から必要なことを学び更に自信を持って行動するのはとても大変だと思います。根本的な人間力を持つ先生方ばかりなので、自信を持てるよう探求して行ってほしいです。

※教諭を対象とした自己評価点検表（Ⅰ～Ⅵまでの各項目に対して、自己評価をポイント制（0～4）にした結果をグラフ化したもの）を基に園側で自己評価を実施した内容に対して、学校評価委員に実際にみていただいている園の状況と合わせコメントいただきました。

○総合評価

A 評価委員(評価ランク A)

避難訓練やバスの配慮点呼等、周囲からはわからないことも多く側から応援するのみで残念です。

ふたば幼稚園は園児が明るくにこにこしていて誰にでもあいさつをしてくれるいい子たちに育っている子が多いです。何よりも園児が楽しそうにしていることが素晴らしい幼稚園である証拠ではないでしょうか。教職員の皆様の努力実践の賜物です。皆様の心身共に健康であることを祈念しております。

B 評価委員(評価ランク A)

自己評価点検表に沿って評価の実践と評価結果の文章化、数字化されていることすばらしい。

春の生活発表会に向けての各クラスのエピソード、発表会当日までの過程・努力の様子がわかりました。

毎月の園・クラスだよりもよくできております。日々の先生方のご苦勞に感謝いたします。

C 評価委員(評価ランク A)

ふたばらしい保育を受け継ぎつつ時代に合わせた情報公開や対応を心がけていて素晴らしいと思います。

今後も子供たちの大切な成長の場である幼稚園をより良いものにしてほしいです。

D 評価委員(評価ランク A)

本年度は予定が合わず、発表会の様子を見るできませんでした。大変申し訳ありません。

資料を拝読いたしまして、先生方が工夫して活動されている事が伝わってまいりました。

コロナ禍で本来の教育以外に感染回避が加わり大変なこととは思いますが、このまま自信をもって取り組んでいただくことを望みます。

E 評価委員(評価ランク A)

各項目の「自己点検(教諭)総合分析表」「自己評価結果」を拝読し、項目V「地域自然や社会との関わり」を除いてそれぞれ高評価になっていることに安心しました。手書きでの各クラスだよりを読めば、自明のことではあります。

項目Vはこの3年間のCOVIC-19が収束し、「新しい日常」が訪れるまで、現在はしっかり「充電」し、この項目の事業展開に備えてください。このことは項目VI「研修と研究」についても言えることだと思います。対面での研修等が少しずつ戻ってきているようですから、積極的に参加され自己研鑽に励んでください。

今日の「春の生活発表会」を鑑賞させていただきとても「幸せ」な気持ちになりました。それは、園児も教職員もご家族の皆さんも全員が「幸せ」を感じていたからじゃないかと思います。

これからも園に関わっている皆さんが「幸せ」だと思って働ける環境を作り続けてください。

※学校評価委員より1年間を通じた総合的な評価(ランクA～DでAが一番良い)と、頂きましたご意見を記載しました。なお、各評価は2月の「春の生活発表会」時に実施していただきました。